

○議長（白石 幸喜君） 2番、田爪朝幸君の質問を許します。

○議員（2番 田爪 朝幸君） 議長。

○議長（白石 幸喜君） 2番、田爪朝幸君。

○議員（2番 田爪 朝幸君） それでは通告のとおり「民話うるし兄弟を活用した観光振興について」質問いたします。

西米良村には長い歴史があり、多くの民話・昔話が語り継がれております。そして本村もその民話の保全に取り組んでおり、本年度は米良の民話の集大成とも言える「米良のむかし語り」という書籍も発刊されたばかりであります。

そんな村内にたくさんある民話の中で1番有名な話は、昔TBS系列の全国アニメ「まんが日本昔ばなし」でも取上げられました小川の「うるし兄弟」の民話であると思います。

このうるし兄弟の民話が「龍の淵」という名前で放送されたのが昭和51年の1月、来年1月でちょうど50年になります。この記念の年に合わせて、改めてこの物語の絵本化や紙芝居の書籍化などに取り組み、西米良村の民話を広くアピールするのはどうでしょうかと考えています。また、物語の舞台である小川蛇淵の看板の更新や、蛇淵までの道案内看板の設置などを行い、観光地としての価値を高める設備の充実も同時に行えば相乗効果があると考えています。うるし兄弟アニメ放送50周年というキャッチコピーを使い、教育委員会や観光協会、またおがわ作小屋村や語り部の会、ゆた〜と温泉などにも協力を仰ぎ、組織横断的な取り組みができれば、古くからある西米良村の魅力を活用した観光振興に繋がると考えますが、村長の考えをお伺いします。

○村長（黒木 竜二君） 議長。

○議長（白石 幸喜君） 村長。

○村長（黒木 竜二君） 2番、田爪朝幸議員から質問のありました民話うるし兄弟を活用した観光振興についてお答えをいたしたいと存じます。

西米良村の民話につきましては、西米良村語り部の会が中心となって小学生の継承活動やイベント等に指導を行っていただいているところでございます。このような活動が評価をされて、本年度宮崎県地域学校協働活動表彰を受賞されたことは大変うれしいこととございます。村としましては、民話を大切な資源と考えておりまして、こ

の保全のために米良のむかし語りを本年度発刊しましたことは、議員のおっしゃるとおりでございます。また、米良のあさよむ村民運動や精霊かりこぼうずを活かした観光振興など、西米良村の地域振興のバックボーンとなっていることは皆さんも御承知のことだと思います。

このような中、議員のおっしゃるように、うるし兄弟は「まんが日本昔ばなし」でアニメ化されておりますが、もうすぐ50周年を迎えることはこの御質問で初めて知ったところでございますが、1月から野添教育長にお越しを頂き、関係課も含めこれからの地域振興の在り方をいろいろと協議する中で、村に残る民話・神楽・民謡を活用することで、農村の活性化につなげていこうと方向性も見えてきているところであります。

ちょうどよい機会ですので、今回頂いた提案も念頭に置きながら、今後の観光振興を検討してまいります。

以上申し上げまして、田爪朝幸議員の質問に対する答弁とさせていただきます。

○議員（2番 田爪 朝幸君） 議長。

○議長（白石 幸喜君） 2番、田爪朝幸君。

○議員（2番 田爪 朝幸君） 今、検討していただけるということで本当にうれしく思います。

私も昔から民話は盛り上げていきたいと思ったんですけど、ちょっとこのことを知ったのは最近でしたので、ちょうどいいタイミングではないかなと思って質問させていただきました。

先日おがわ作小屋村の方に行っているいろいろ話を聞きましたところ、今でもやっぱり蛇淵を求めてこられるお客さんは多いそうです。ですが、蛇淵に行ってみただけどちょっと道が分からなくて帰ってきたとか、看板がちょっと古くなったり向きが悪くてですね、もう通り過ぎて帰ってきたとかそういう話も聞いております。ですのでまたそういうのに取り組んで看板等ですね、いろいろ観光振興に向けて取り組んで頂ければと思います。

そしてこの50周年というのはですね、この1年間期間限定で盛り上げていくというのはとてもいいきっかけになると思うんですけど、このことだけで盛り上がりが終わってしまうのはとても残念だと思っています。単年度で終わらせないためにも、

もう1つ質問提案があるのですが、このうるし兄弟というキャラクターはですね、ここにもちょっと私も持ってきてるんですけど全面と後ろに顔があるキャラクターが、小川で昔おられた寺原重次先生という方が考案されたというふうに聞いております。このキャラクターがとてもかわいいキャラクターでありますので、できればですねこの今、西米良村のマスコットのゆるキャラとしてあります、かりこぼうずほいほいくんが続いて、このうるし兄弟を西米良の第2のゆるキャラマスコットキャラクターとして公認していただければどうか、どうであろうかということを提案します。

新たなキャラクターが誕生するということになれば話題性にもなりますし、次年度以降こういう50周年で生まれたキャラクターを中心にですね、また民話とかそういう資源が盛り上がっていくのではないかと考えますが、村長の考えをお伺いします。

○村長（黒木 竜二君） 議長。

○議長（白石 幸喜君） 村長。

○村長（黒木 竜二君） 先ほどの動線の部分について観光資源の動線についてはですね、やはりそういうお話があるということであるならばですね、観光協会含めて様々な対応をちょっと早期に図ってまいりたいと思います。

それと同時に先ほどのキャラクターの件ですけれども、ゆるキャラブームっていうのが2010年からでしょうかね、流行り始めてもう御存じなのは1番は「くまモン」っていうキャラクターがありますけれども、そこについてや全国的な注目を集めてまだくまモンという名称が残っておりますけれども、ただその考えでいくとちょうどピークをもう過ぎてしまったところかなと思っております。そこからまたその話題を持っていこうということになりますと、私の考えではちょっと厳しい考え、ところがあるのかなと思ってますけど、ただ先ほどの蛇淵うるし兄弟そしてそのキャラクター、ここについては既存にあるいいものだと思うんですよ。そこをもう1回やっぱり練り直して、新たなお土産品であるとか、そういう例えばふるさと納税の関係で返礼品にするとか、そういうことについては前向きな発想ができるのかなと思っております。それを西米良で全面的に打ち出してっていうことはゆるキャラとしてですね打ち出すということは一応考えはしますけれども、そういうことで御了承頂ければと思います。

以上です。

○議員（2番 田爪 朝幸君） 議長。

○議長（白石 幸喜君） 2番、田爪朝幸君。

○議員（2番 田爪 朝幸君） はい、ありがとうございます。

決してゆるキャラは古くないと私は思っています。

いろいろ調べてみましたらですね、全国の自治体で80%ぐらいの自治体にはゆるキャラがあると。そしてその自治体の中でもゆるキャラがいる自治体の中で40%ぐらいは1つのゆるキャラでまた25%ぐらいが2～3体いると。ゆるキャラがですね、10体以上おるとい自治体もあるようであります。

そして宮崎県でも、宮崎県は3人3匹ですかね、おりますけど新しいところでは、警察所のキャラクターでみやけいちゃんってあるんですけど、あれが去年ですね多分だまされんGとかいうおじいちゃんのキャラクターがまた新たに生まれたりしているようであります。

新たにキャラクターをつくるのは大変でありますけど、村内の場合はもう既に既存のキャラクターがありますので、そのキャラクターの活用というふうに提案したところでありますけど後任で難しいということであれば、私も勝手につくって勝手にやりたいと思っておりますので、黙認していただければなというふうに思っているところであります。

ほかの自治体でもですね、今は高千穂なんかでも「推しの子」とかいうアニメと提携されてますよね。新たなアニメを作ったりするのは大変なんですけど今村内にはもうこの50年前に立派なアニメがあると。そして観光地もあるということでもありますので、村長が来年度の計画の中でも挙げておりますけども、既存の観光資源を掘り起こしていくというところに、これもきちとはまるのではないかなと思っていますので、また来年度に向けてあと1年ある、あと1年しかないどちらふうに考えるかちょっと難しいところではありますが、きっちり考えていただいてですね、盛り上げていただきたいと思います。

私も個人的に盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

それではこれで質問を終わります。

○議長（白石 幸喜君） これで一般質問を終わります。